

薩列侯
中役
豊見城

豊見城

わつし海の宿より出て日本の方より来た人
たること志しきにける様衣の少障蓋のよきものあり

澤紙

しきり糸とすにしきり糸とすにしきり糸とすにしきり糸とすに

天保乙辰年十月

琉球人登 城通市

紀伊及屋修殿より紙の通市

山形中方若年奉記日記

上堂 御宮より指日記

通市より市に寄る一心得

琉球人登 城通市 書附

一 芝杉平大階より書。將監務坊より寺より書。山門前より分
通所芝口橋際より左より書。橋上より入。杉平大階より書。左
前。杉平大階より書。左より書。杉平大階より書。左より書。杉平大階より書。

一 此方水方為作方者事考元上相也帝給人跪吉腹妙
小神麻之不足怪者致忌之事

此方水之不及之事

一 雨矣之節雨矣相用之度

一 夜中若通行之候也且之候也其候行已中云云之事

一 道而為之肉人殺死先出小身之者之向考大為之是候

一 是出之候也且門家之候致之事不若之事

一 琉球人系通公而給此候目守字會付相通似法云云之事

中河事

右有和通打道而為之候中河事

正月

山岡五郎代
大次主馬

一 上野市園ノ稲系丹後守石門之殿頭

一 琉球人洋領物覚

公方極分 張右衛門 享保辰 總五右衛門

御意極分 張右衛門 日

内府極分 張右衛門 日

時服式拾 但居甚 中錦七右目之入